和教時報

2025年２月15日（土）発行　第2018号（毎月15日発行）
発行所／〒640-8269 和歌山市小松原通3-20　和歌山県教職員組合
TEL 073-423-2261　FAX 073-436-3243　情宣部長／山口法之
1部　20円（購読料は組合費に含みます）

和教組ゆるキャラ みばん

新会館「イキシアわかやま」

来館お待ちしております！
～みなさん利用してください～

イキシア外観

新会館（和歌山県第二教育会館）も完成し、愛称も「イキシアわかやま」という良い名前を付けていただきました。

イキシアわかやまは、木造二階建てで学校生協や和教共済などの教育事業センターが一階に入り、二階には、和教組の書記局と大中小の会議室になっています。エレベーターも設置され二月一日から三日にかけて、和教組本部と教育事業センター職員全員が力を合わせて引越作業を行い二月四日よりイキシアわかやまにて通常業務を始めています。

大会議室

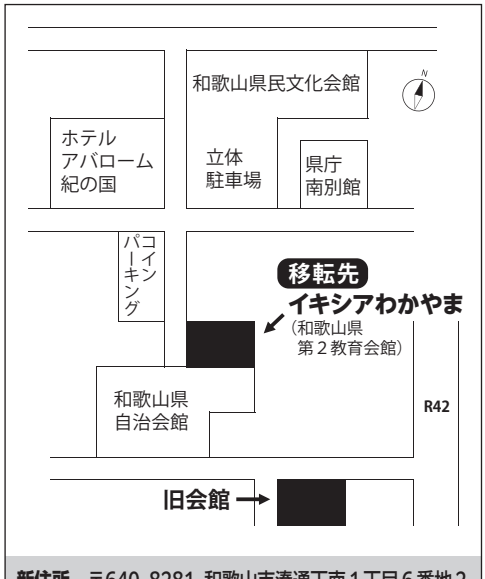
イキシア入口

イキシアわかやまは、紀州材を使っているので、木の香りがしています。新しい建物だけあって気密性も断熱性能も上がっているため、移転後すぐ極寒の毎日でしたが、イキシアわかやまの中は、エアコンの設定温度を二〇度でも結構暖かく過ごせています。

和教組書記局内

まだまだなかなか落ち着きませんが、快適に過ごしています。

組合員の皆様も近くにお寄りの際はぜひお越しください。



新住所　〒640-8281 和歌山市湊通丁南１丁目６番地２

輝いてワンショット　**全国に和歌山アピール！**
（全国青年教職員学習交流集会TANE!より）

ピンのスポット 427

文部科学省は一二月二〇日、教職員の人事行政状況調査の結果を公表し、二三年度に精神疾患で休職した公立学校教員は、全国で過去最多の七一一九人（前年度比五八〇人増）に上ったことが分かりました。増加は三年連続。若手の割合が高く、ベテランの大量退職期で増えた若手教員への支援が課題となっています。

また、これ以外の傷病や一ケ月未満の休職者はこの数に反映されておらず、すべてを含めるとさらに増加します。学校現場では補充者が入らない一ケ月未満の病休者の対応に苦慮しています。全ての教職員を時間刻みで配置し、日々を乗り切っているのが現状です。

この状況を招いているのは、教職員不足と多忙です。こどもたちの笑顔が輝き、教職員が安心して働き続けられる学校づくりのためにも、新たな教育施策の構築はまったなしです。（Y）

教職員増員、残業代支給を求めて 全国一斉アクション

県民のみなさんに共感広がる

先月から始まった国会では、学校の多忙解消や、教員の待遇改善などが審議されます。これは、この間の私たちの運動が世論を高めてきたことによるものです。

政府は来年一月から教職調整額を五％とし、その後も段階的に引き上げようとしていますが、給特法の仕組みそのものを維持するのでは、調整額が改善されても、勤務状況は何も変わりません。長時間勤務解消のためには、教職員の増員や、残業代支給の仕組みが必要です。

全日本教職員組合（全教）は、私たちの要求実現に向けて、二回の「全国一斉定時アクション」をよびかけました。

一回目は一一月二七日の職場会開催でした。全国で七〇〇分会以上が参加する中、和教組は一二〇以上の分会が取り組みました。全国的にSNSデモも盛り上がり、一時は「トレンド入り」しました。

二回目は一月一五日を中心とした地域での宣伝行動がよびかけられ、和歌山では県内各地で様々な宣伝行動を行いました。スーパー前などの街頭宣伝では、多くの県民が私たちの運動に理解を示し、あたたかい声をかけてくれました。

国会は与党が少数であり、展望の広がる情勢となっています。県民のみなさんの支持のもと、多忙解消実現のために運動をさらに広げましょう。

女性部 新春つどい 2月8日

「ジェンダー問題を斬る！」

和教組女性部　書記長　岩田　美和

今年は兵庫県在住、作家のアルテイシアさんに「だれもが生きやすい社会へ！」というタイトルで、日本のジェンダーギャップ指数が何故低いか、マジョリティの中にある気づきにくい差別などをズバッと軽快にお話いただきました。参加者の中にアルテイシアさんを知っている人はいませんでしたが、男子校で話をすることも多いそうで、ジェンダーの課題を若い男性が積極的に学ぶ時代になっていることに希望が持てました。しかし世界はもっと進んでおり、同性婚を認めているオランダは幸福度ランキングが一位で、自殺率も低いそうです。精神の安定は社会の安定につながるということは事実です。日本が「選択制夫婦別姓」ですら認めない社会が守りたい物は何なのかを考えた時、権力者に都合の良い社会づくりのためにマイノリティは黙らされてきた、今、マスメディアを席巻している問題は起こるべくして起こった、ということにつながりました。講演後の交流タイムには学校でのジェンダーを話しました。ハラスメントが多すぎてコミュニケーションが取りづらいという話題にもなりましたが、そもそも会話をする時間があるのか、というのも疑問です。今回のようにおしゃべりする機会を楽しみにしている方々がいて、開催して良かったと思いました。

第24回全国障害児学級＆学校学習交流集会in滋賀　1月11日~12日

学び語りつながろう
～“この子らを世の光に”を実現する実践と学校・地域づくりの創造を～

和歌山市支部　紀伊コスモス分会　寺西　有里

私は今回、分科会でのレポート発表という大役を背負っての参加でしたが、出発前の緊張を忘れるくらいの充実した学びの多い、楽しい二日間でした。

全体会は青年教職員によるミニ実践報告とそれを受けての白石恵理子・正久両氏によるコメントという構成でした。特に白石正久先生が「〝子どもをわかるようになりたい〟という願いこそ、〝真の発達〟を学び続ける原動力になる。そして、その子どもにつながる保護者さんや同僚とわかり合い、同じ方向を向いて歩いて行くことが、社会の抵抗を乗り越え、発達の権利が保障される社会を作っていくために必要である」ということを語られたのは、翌日に〝保護者との共同・教育条件整備〟の分科会での発表を控えた私にとっては、とても勇気づけられるものでした。

奈良教育大学の越野和之先生による講座『私たちのインクルーシブ教育がめざすもの』では、「いっしょにする／しない」という視点ではなく「子どもの権利保障」「学ぶ・発達する機会の均等」という視点の大切さを再確認しました。

分科会では「〝ぶっちゃけ〟て伝え合う～『子どもたちの笑顔実現プロジェクト』のとりくみを通して～」というタイトルで、私が数年前から関わっている教師と保護者の共同のとりくみについて報告しました。当日は保護者の方がオンラインで参加、発言もしてくれ、会場に普段の活発な交流の様子をお伝えすることができました。分科会の助言者から「自覚者が責任者」「親から学ぶ、親をリスペクトする」「〝しかたない〟ですませない」「社会運動に関わり続けるのは自分自身に対しての発達保障」という言葉をもらいました。これらの言葉を大切にしながら今後も自分のペースで取り組んでいきたいと思います。

まちがいさがし当選者（10名）

おめでとうございます。
当選者の皆様には「学校生協ギフトカード」を贈呈いたします。

支部	分　会	氏　名
伊　都	九度山小分会	綿田　綾子
那　賀	山崎小分会	増田　亜生
海　草	中野上小分会	ルーク・ザレブスキー
海　草	野上小分会	奥田　吉彦
有　田	箕島小分会	田中　辰巳
日　高	志賀小分会	西谷　和由
日　高	中津小分会	山崎　扶美子
西牟婁	三里小分会	佐々木　太
東牟婁	太地小分会	岸　みどり
東牟婁	書　記　局	舛屋　珠季

ご応募ありがとうございました。

2025年度 あすの教師塾（オンライン併用）日程

日	曜	時　間	内　容	会　場
4月19日	土	13:30～16:30	教育法規①	和歌山県教育会館（新）
5月10日	土	13:30～16:30	教育法規②	和歌山県教育会館（新）
5月17日	土	9:00～12:00	小論文①	和歌山県教育会館（新）
5月24日	土	13:30～16:30	教育史	和歌山県教育会館（新）
6月　7日	土	13:30～16:30	教育政策	和歌山県高校会館
6月21日	土	9:00～12:00	小論文②	和歌山県教育会館（新）
7月26日	土	13:30～16:30	面接対策	和歌山県教育会館（新）

※２月から和教組は新教育会館（湊通り丁南）に移転しています。従来の教育会館から徒歩約３分です。１面の地図を参照ください。
※7/26の「面接対策」は実参加のみで「オンライン」はありません。
☆３月に受講申し込み書を送付します。少し先ですが、今から予定しておいてください。

もう一度行きたい

あんなトコ こんなトコ ええトコ

7

真妻山

日高支部　清流小分会　古部　純子

日高富士といわれる真妻山。標高五二三メートルの山で、私の夫や息子が通った山野小学校では、校歌にも歌われ、親しまれている山です。永年、春の遠足にはこの真妻山登山が恒例となっています。そして、息子と私の恒例行事は、初日の出をこの真妻山の頂で迎えることです。

今年も、元日の早朝五時半、ヘッドライトを装着し、すみきった空気の中、自宅を出発しました。息子が小学三年生の頃から始めた元日の早朝登山ですが、小さかった息子も今では見上げるほどの背丈の大学三年生！足取り軽くすたすたと登っていきます。私はというと、還暦を迎え、年々体力がなくなって、少しずつ白んでくる空を見上げては、ご来光に間に合うか、気持ちは焦るも足は上がらず、やっとのことで頂上に到着したのでした。

頂上は、地元の人により芝生の広場に整えられていて、煙樹ヶ浜の長い海岸線も紀伊山地の深く連なる山々も、三六〇度ぐるりと見渡すことができます。この素晴らしい景色を眺めながら、リュックにつめこんできたコーヒーミルを息子がくるくると軽快に回して豆を挽いてくれるのも恒例のこと。挽きたての豆で淹れた熱いコーヒーを味わいながら、ご来光を待つのも幸せなひとときです。そして、東の山の稜線が輝き始め、ゆっくりと昇る初日に手を合わせ、今年もパワーを頂くことができました。そして、また来年もその次もずっと、この景色を見たいと願うのです。

2025年度

奨学生募集のお知らせ

無利息で奨学金を貸付します。

応募資格	国・公・私立大学・大学院・短期大学・高等専門学校（第４学年以上の在学生に限る）及び専修学校（学校教育法「第７章の２」に基づく）に在学しているか、入学手続きを完了したもの。（但し海外の大学は対象外です）
募集期間	2025年２月１日～４月30日
募集人員	20名
貸付金額	修学１年につき25万円で、新入学の場合、最高４年で100万円
利　息	無利息（但し、返済期限を過ぎた場合は延滞利息を徴収します）
申込方法	当支部のホームページ（「和歌山教弘」で検索して下さい）にある「申請書・その他ダウンロード」より募集要項等を取得後、和歌山支部へ送付して下さい。
選考・決定	当支部の教育振興事業選考委員会にて審査、選考をおこない、和歌山支部長の推薦をへて本部理事長が決定します。
奨学金送金予定	2025年６月初旬
奨学金の返済	奨学金は原則として卒業年の12月を第１回とし、100万円借用者の場合は10回以内、それ以外は８回以内の年賦返還（毎年12月）。

日本教育公務員弘済会和歌山支部
〒640-8269 和歌山市小松原通3-20
TEL. 073-421-7881
FAX. 073-488-7202

総合共済は

ホームページからお申込みできます！

スマホでカンタン！

掛金600円 退職時に全額給付

全国9万人 仲間の助け合い 全教共済

あなたもぜひ仲間に！

お問合せは　和歌山県教職員共済会・WKKまで
〒640-8269 和歌山県小松原通3-20　教育会館１F
TEL：073-436-7860（9:30～17:00）
FAX：073-436-8688（24時間受付）